



鹿内正孝社長（右）と道見重信相談役兼コーケン社長

「玄米酵素」「ハイ・ゲンキ」シリーズは一民間企業としては稀な科学的検証を繰り返してきた健康食品です。長きにわたり愛食する人が多い」と鹿内正孝社長。近年は道産ハ

スカップを使用した製品を加えるなど、シリーズのバージョンアップも図っている。商品は医療・施術関係が取り扱う特約店が500件を超え、学会の論文などにも登場。



玄米酵素「ハイ・ゲンキ」シリーズ

る。18年2月には経済産業省・日本健康会議の「健康経営優良法人2018」（中小規模法人部門）の認定を受けた。全国各地でおこなっている健康講座は18年、2万回を

玄米発酵食品「FBR A（ふぶら）」の学術的研究も19年に20年を迎える。「1つの商品を長く研究できたのは誇りです。真面目にやり続けたことが医療関係や行政などに評価されたのだと思います」と道見重信相談役。事業内容は近年、

玄米酵素
札幌市北区北12条西1丁目1-1 第1酵素ビル
☎011-736-2645
<https://www.genmaikoso.co.jp/>

2019年の決意
使命
企業の

健康教育企業として、一社一社にあったサポートを



20年を迎える「FBR A（ふぶら）」研究会（上）。企業に出向き「食と健康セミナー」を開催（下）

開催。健康自然食料理教室など、食育にも取り組む。同社の根本は「食すなわち命なり」という医食同源の理念。「当社の社員が講座などをおこなっています。健康教育企業を打ち出し、マス（大衆）向けの視点ではなく、一社一社、一人ひとりにあった健康の提案、サポートをしていきます。もともと当社を活用してもらいたいです」と鹿内社長。19年は「予防・未病」を掲げ、これまでの研究をもとに産学官との連携を進める。